

任地エウア島で私の家から1番近いファレコロア(トンガ人経営)。いつもお世話になっています。



トンガの買い物事情って

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

今回は、買い物事情をお伝えします。トンガには、中国人経営が大半を占めるファレコロアと呼ばれる商店が存在します。規模は日本のコンビニサイズほどで、必要最低限の生活用品や食品が揃い、人々の生活を支えます。

通貨はトンガパアング、レートは、1 バアング約 50 円です。600ml の水、袋ラーメンが 1 パアング、トイレットペーパー1 ロール、食パンが 2 パアング、

ポテトチップスは 5 パアング前後。野菜

はマーケットで購入あるいは自給自足

と家庭により異なります。時期により量

の変動はありますが、マーケットの野菜

は基本 3 パアング。肉類は冷凍され、ビ

ニール袋での販売が主流です。近隣は

NZ やフィジー、インドネシアや中国と



物資も人も運ぶ、エウア島民の生活に欠かせない船“オネマト”号。

いったアジアからも、多くの食品や製品が輸入されています。日本では買い出しや家族でショッピングを楽しむのも週末の過ごし方の1つですが、トンガの日は曜日は安息日とされ、商店やレストランも休業。（渡航時には、食料確保を忘れずに。）土曜日の夜に慌てて買い物に行くトンガの人たちも多いようです。

次に、家や車と大きな買い物はどうするのか。資金源は、豪州やNZでのフルーツピッキングによる出稼ぎです。話を聞く限り、1親族に1人は存在。家族のため小さな子どもを残して数ヶ月間家を離れる親も少なくありません。出稼ぎも大切な家族を養うために必要なのは理解できますが、あくまで一時的な措置に過ぎません。仮に先進国の機械化が更に進み、人手が不要となった場合、途上国の人たちはいかにしてお金を得るのか。以前にもお伝えしていますが、雇用機会の見直しも、この国では大きな課題であるのかと考えさせられます。

余談に、トンガ土産。あまり商業的ではなく限られた土産物しかありません。和紙のようなトンガの伝統タパを用いた工芸品やトンガの国章や地図が描かれた巻き布トゥペヌ、トンガラグビーのグッズがあります。滞在期間が長ければ、自分の好きな布を選んでオーダーメイドのトンガ伝統服も素敵でしょう。



首都のマーケットの一部には、工芸品を取り扱うコーナーも設けられています。訪れた際には、是非見てほしい。